

富士ダイス株式会社

2018年3月期 決算説明資料



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	6
III : 2018年3月期 業績概要	14
IV : 2019年3月期 業績見通し	22
V : 成長戦略（中期経営計画）	26
VI : 参考資料	35

I :	会社概要	2
II :	当社の特長	6
III :	2018年3月期 業績概要	14
IV :	2019年3月期 業績見通し	22
V :	成長戦略（中期経営計画）	26
VI :	参考資料	35

会社概要

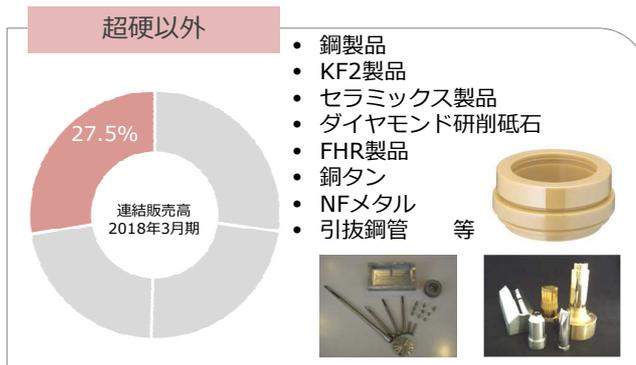
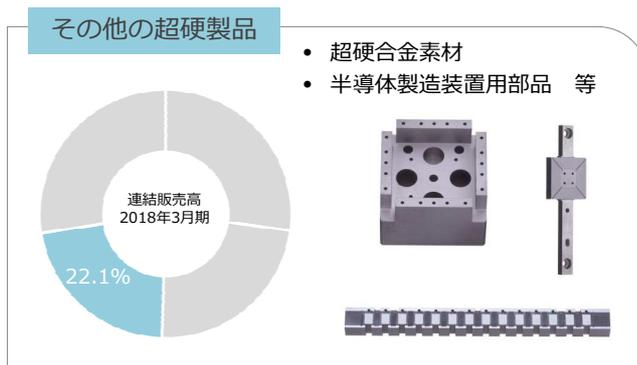
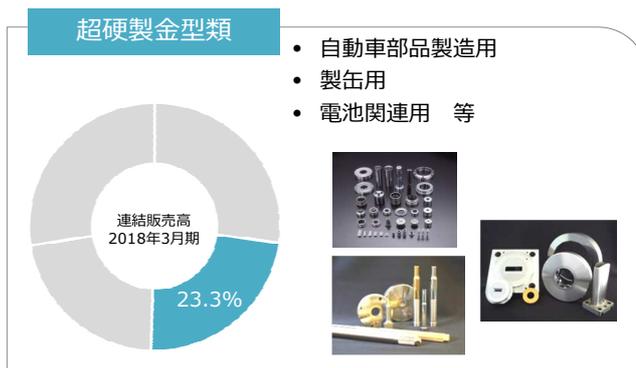
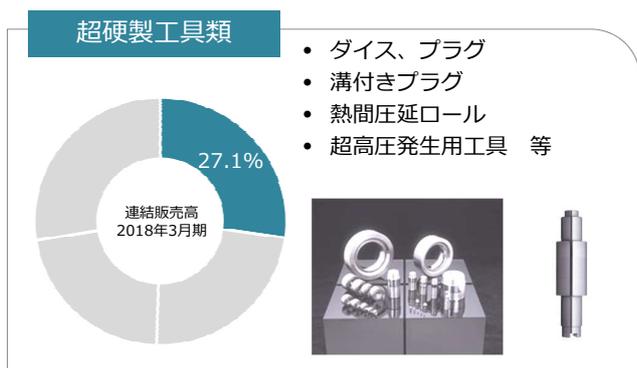
会社概要

商号	: 富士ダイス株式会社	創業	: 1949年6月
所在地	: 東京都大田区下丸子2-17-10	設立	: 1956年4月
資本金	: 164百万円	事業目的	: 超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造・販売
代表者	: 代表取締役社長 西嶋 守男	従業員数	: 1,116名（2018年3月期末、連結）

拠点（2018年3月31日現在）



■ 超合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

様々な製品の製造工程に用いられる

■ お客様の製造工程における生産性（加工速度や精度）向上に直結する超高精度の工具・金型を提供

当社工具・金型



お客様の最終製品例



飲料缶



家電製品



光学機器



輸送用機械



燃料電池



携帯電話・スマートフォン



医療用機器



航空機

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	6
III : 2018年3月期 業績概要	14
IV : 2019年3月期 業績見通し	22
V : 成長戦略（中期経営計画）	26
VI : 参考資料	35

当社の特長 ハイライト

POINT1

超硬耐摩耗工具業界で長期に亘り国内トップ

POINT2

受注生産・直販体制、全国をカバーするネットワーク
取引先は約3千社、業種も多岐に亘る

POINT3

一貫生産体制により様々なオーダーに柔軟に対応

POINT4

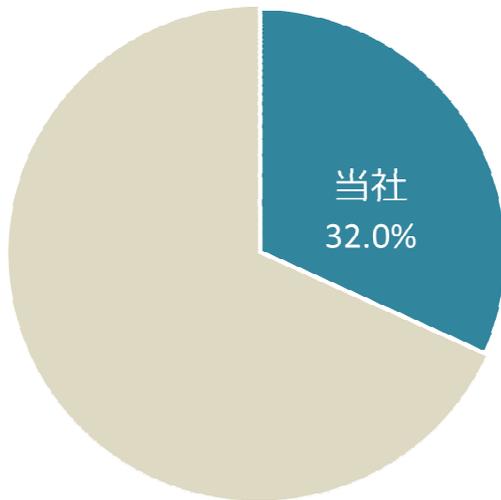
開発力-生産技術力-営業力が競争力の源泉

POINT5

堅固な財務基盤

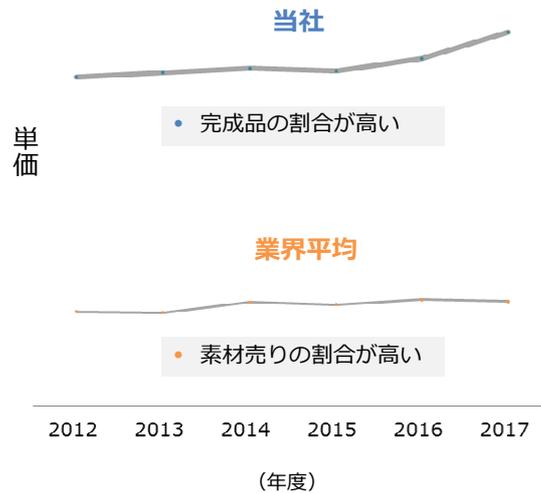
- 国内超硬耐摩耗工具業界で当社は**長期に亘り**、**トップシェア**を堅持
- 少量多品種の**高付加価値製品**の販売が主で、販売価格は**安定**して推移

耐摩耗工具国内出荷額シェア（2017年度）



出所：日本機械工具工業会

製品の平均単価の推移



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

8

- **業界最大**の約100名の営業員による**直接販売網**を構築
- メンテナンス（修理・再研磨）により**高いリピート率**を実現

拠点網（2018年3月31日現在）

主要生産拠点 7ヶ所

郡山、秦野、名古屋、大阪、岡山
熊本、新和ダイス（山梨）

営業拠点 13ヶ所

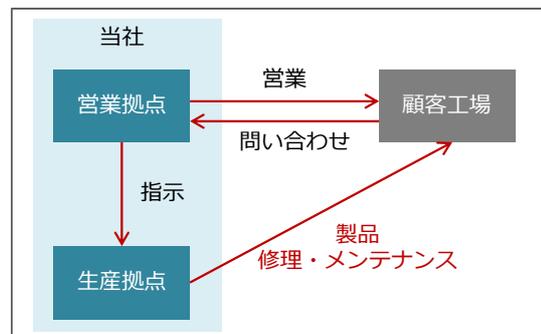
郡山、埼玉、秦野、栃木、東京
岡山、大阪、名古屋、北陸
熊本、門司、本社（輸出部）
富士シャフト（福島）



※2017年5月に門司工場を閉鎖し、生産設備を熊本製造所に移管

顧客との強固なネットワーク

- リレーションを強化することにより、顧客の要望に対しタイムリーに対応
- 顧客の生産効率アップに繋がる提案が可能



顧客ニーズ

- 製品自体の耐摩耗性や精度の高さ
- 設計思想や生産体制に合った製品

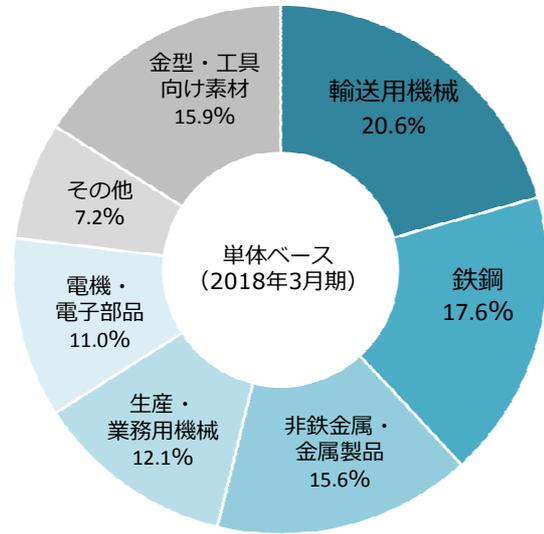
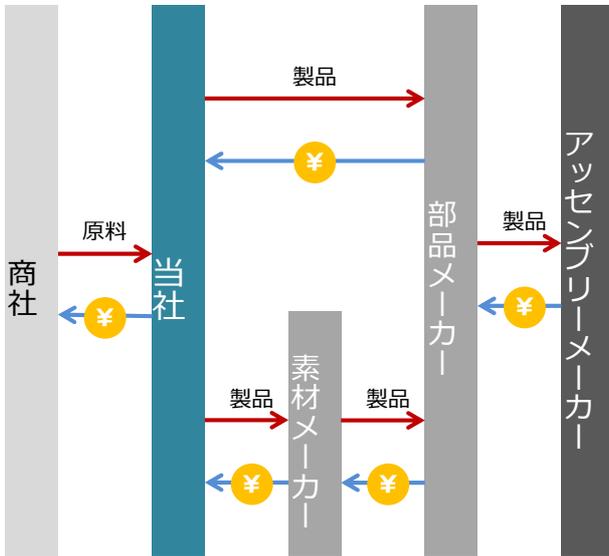
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

- 少量多品種の顧客毎の**カスタムメイド**の**受注生産・直接販売**を行う
- 取引社数は**約3千社**、**業種も幅広い**
- 特定の系列に属さない**独立系**のため様々な業界、企業と取引が可能

事業フロー

顧客産業分類別売上構成比率



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

10

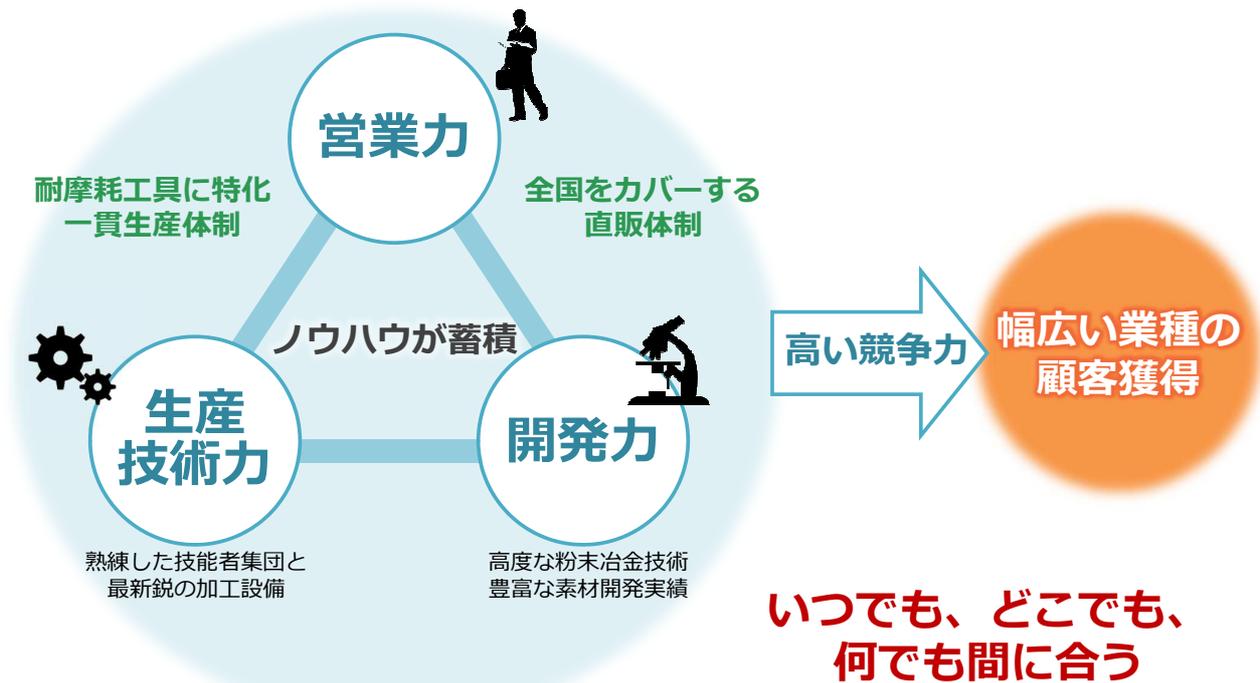
- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで**一貫した受注生産体制**
- **高度な粉末冶金技術と加工技術**
- 様々なオーダーに対し**柔軟に対応**が可能 (多品種・少量生産)



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

11

- 開発力、生産技術力、営業力が相まって、高い競争力を創出

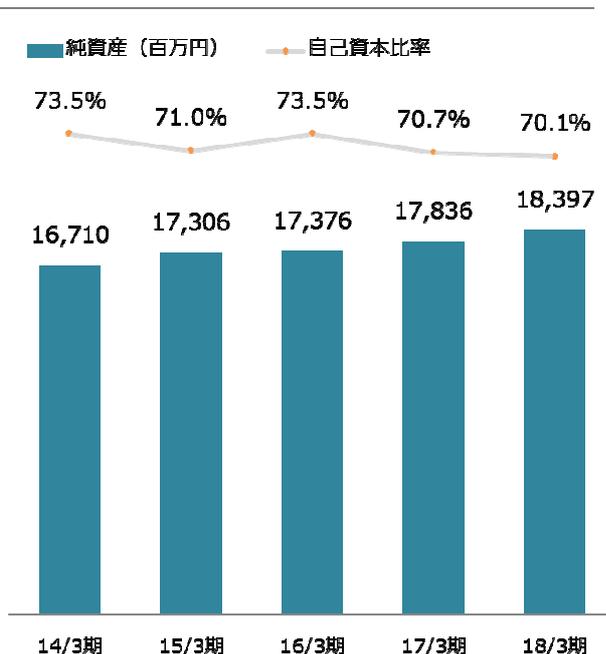


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

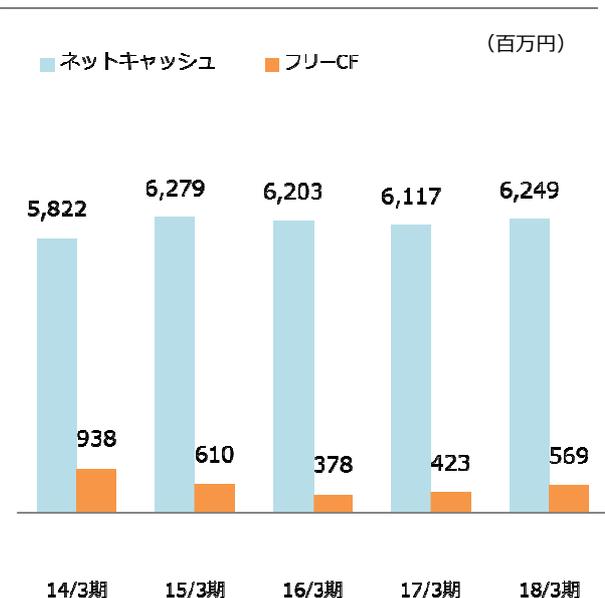
12

- 創業以来現在に至るまで**黒字経営**を継続し、高い自己資本比率を維持
- 手元資金も潤沢

純資産・自己資本比率推移



ネットキャッシュ残高・フリーCF推移



※ネットキャッシュ＝
(現金＋有価証券)－(短期借入金＋1年内返済予定の長期借入金＋長期借入金)

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	6
III : 2018年3月期 業績概要	14
IV : 2019年3月期 業績見通し	22
V : 成長戦略（中期経営計画）	26
VI : 参考資料	35

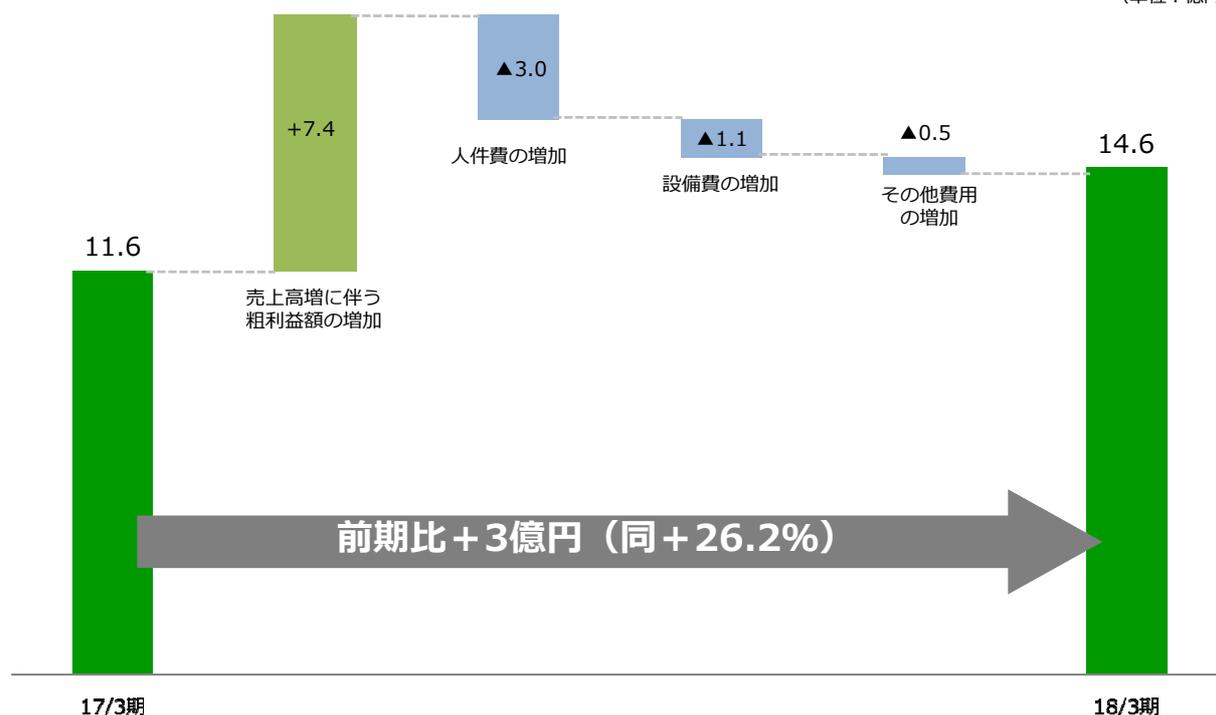
2018年3月期の総括

連結売上高	17,990 百万円	(前期比 108.1%) (計画比 106.7%)
連結営業利益	1,465 百万円	(前期比 126.2%) (計画比 132.0%)

- 売上高、営業利益ともに前期及び計画を上回り、過去最高を更新。
- 需要分野別では“輸送用機械”向けや“金型・工具向け素材”、“電機・電子部品”向け工具が好調を維持。特に自動車向けでの新規案件受注が増えており、全体を牽引した。
- 利益面では、活況な市場に支えられて売上高が増加したこと等により、前期から大幅な増益となった。

※2017年4月12日に東証1部に指定変更。

(単位：億円)



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2018年3月期の事業環境

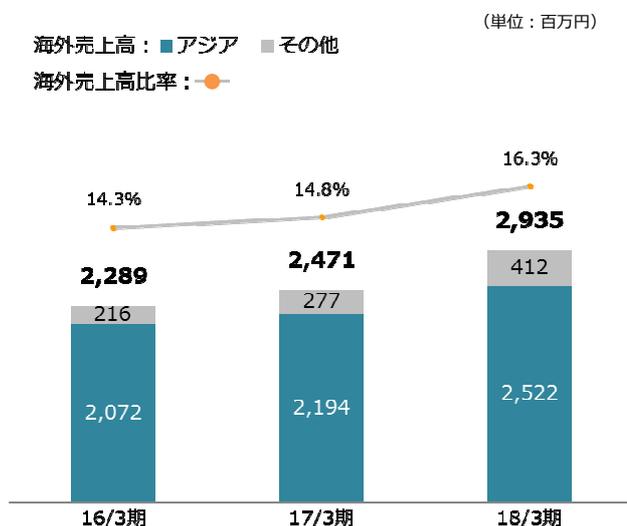
- 鉨工業生産指数は緩やかな上昇傾向が続く。超硬耐摩耗工具出荷額は2016年7-9月期より7四半期連続で前年を超える水準
- 海外売上高は前期比19%増と増収基調に回帰。タイ、中国向けが力強い動き

超硬工具出荷額推移



出所：日本機械工具工業会 『超硬工具統計』
経済産業省 『鉨工業指数』

海外売上高・海外売上高比率推移



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

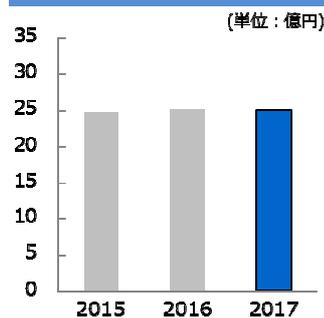
輸送用機械



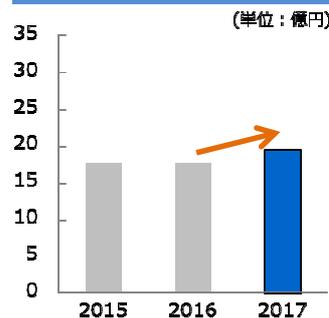
鉄鋼



非鉄金属・金属製品



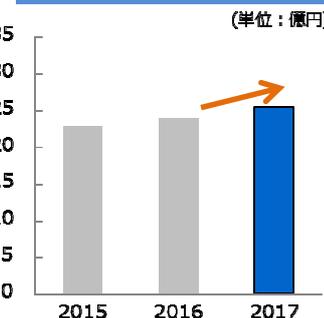
生産・業務用機械



電機・電子部品



金型・工具向け素材



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結損益計算書 (前期比)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2017年3月期	2018年3月期	
		前期比	
売上高	16,648 (100.0%)	17,990 (100.0%)	108.1%
超硬製工具類	4,523 (27.2%)	4,881 (27.1%)	107.9%
超硬製金型類	4,101 (24.6%)	4,199 (23.3%)	102.4%
その他の超硬製品	3,698 (22.2%)	3,970 (22.1%)	107.3%
超硬以外	4,324 (26.0%)	4,939 (27.5%)	114.2%
売上総利益	4,218 (25.3%)	4,648 (25.8%)	110.2%
販管費	3,056 (18.4%)	3,182 (17.7%)	104.1%
営業利益	1,161 (7.0%)	1,465 (8.1%)	126.2%
経常利益	1,194 (7.2%)	1,473 (8.2%)	123.3%
親会社株主に 帰属する当期純利益	855 (5.1%)	932 (5.2%)	109.0%

主な増減要因

▷売上高

•超硬製工具類：海外向けの溝付ツールや混練工具、国内向け冷間フォーミングツールや超高压発生用工具の販売が堅調。

•超硬製金型類：製缶金型がやや弱含んだが、自動車部品生産用金型の販売が好調持続。

•その他の超硬製品：スマートフォン部品生産用や自動車部品生産用の超硬金型素材の販売が堅調。半導体生産用の超硬金型素材や半導体製造装置用部品の販売も増加。

•超硬以外：子会社で生産する引抜鋼管の販売が大幅増。鋼製及びセラミック製の自動車部品生産用金型の販売堅調。

▷営業利益

増収効果により大幅増益。

▷親会社に帰属する当期純利益
減損損失127百万円計上
(連結子会社PT.FUJILLOY INDONESIA)

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

(単位：百万円、下段は構成比)

	2017年3月期末	2018年3月期末	
			前期末比増減
流動資産	14,056 (55.7%)	14,938 (56.9%)	+ 881
固定資産	11,188 (44.3%)	11,319 (43.1%)	+ 130
資産合計	25,245 (100.0%)	26,257 (100.0%)	+ 1,012
流動負債	5,545 (22.0%)	6,047 (23.0%)	+ 501
固定負債	1,863 (7.4%)	1,812 (6.9%)	▲ 51
負債合計	7,409 (29.3%)	7,860 (29.9%)	+ 450
純資産合計	17,836 (70.7%)	18,397 (70.1%)	+ 561
負債・純資産合計	25,245 (100.0%)	26,257 (100.0%)	+ 1,012

主な増減要因	
(単位：百万円)	
▷流動資産	
受取手形及び売掛金	+ 453
仕掛品	+ 188
原材料及び貯蔵品	+ 205
▷固定資産	
建物及び構築物	+ 49
機械装置及び運搬具	▲ 50
工具、器具及び備品	+ 80
▷流動負債	
支払手形及び買掛金	+ 538
未払金	+ 430
その他（熊本製造所増築の支払手形等）	▲ 468
▷純資産	
利益剰余金	+ 493

(単位：百万円)

	2018年3月期
現金及び現金同等物期首残高	6,506
営業キャッシュフロー	2,234
投資キャッシュフロー	▲ 1,664
財務キャッシュフロー	▲ 547
現金及び現金同等物期末残高	6,539
フリーキャッシュフロー	569

主な内容	
(単位：百万円)	
▷営業キャッシュフロー	
税金等調整前当期純利益	1,323
減価償却費	1,069
売上債権の増加	▲ 444
たな卸資産の増加	▲ 386
仕入債務の増加	527
▷投資キャッシュフロー	
有形固定資産の取得	▲ 1,608
▷財務キャッシュフロー	
配当金の支払額	▲ 440

I	会社概要	2
II	当社の特長	6
III	2018年3月期 業績概要	14
IV	2019年3月期 業績見通し	22
V	成長戦略（中期経営計画）	26
VI	参考資料	35

連結業績計画

- 旺盛な需要に対応した要員増に伴う人件費の増加、設備機器の老朽代替費の増加、原材料費の高騰によるコスト増等が重く、増収減益の見通し

（単位：百万円、下段は構成比）

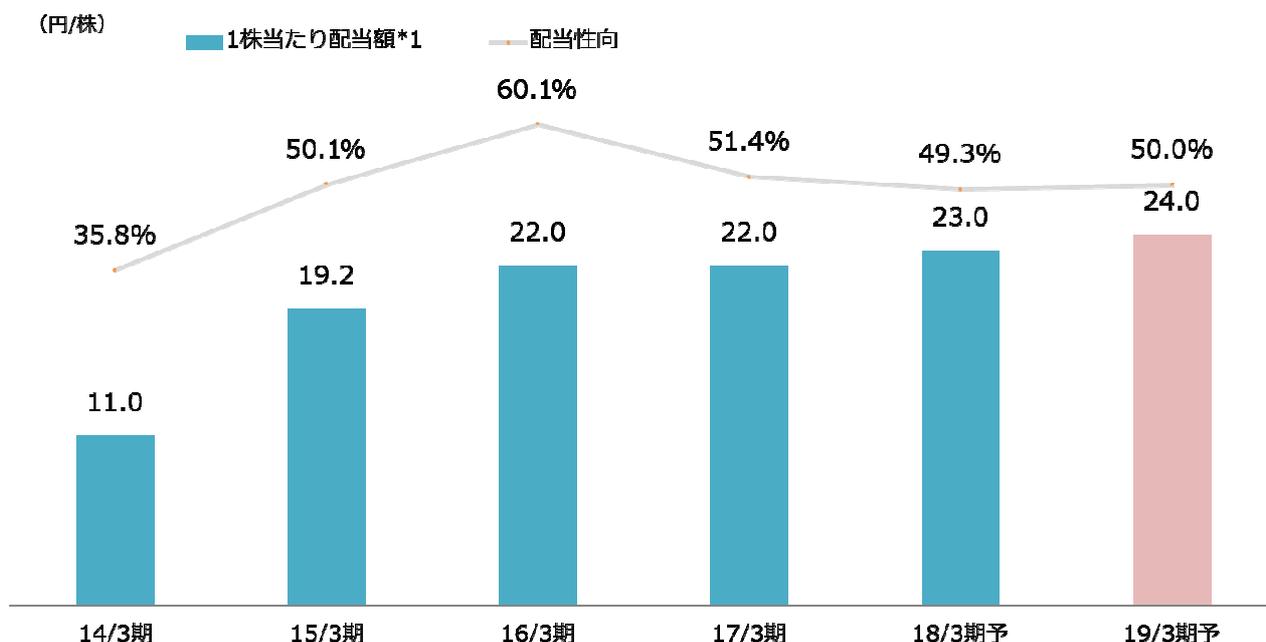
	2018年3月期	2019年3月期	
		計画	前期比
売上高	17,990 (100.0%)	18,300 (100.0%)	101.7%
営業利益	1,465 (8.1%)	1,300 (7.1%)	88.7%
経常利益	1,473 (8.2%)	1,430 (7.8%)	97.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	932 (5.2%)	960 (5.2%)	102.9%
設備投資	1,237	1,690	136.6%
減価償却費	1,069	1,128	105.5%

需要分野	2018年度 市場動向と当社の取り組み	前期動向	今期見込み
輸送用機械	環境対策車および次世代自動車向けの部品成形用金型の受注が堅調、前期比増を見込む		
鉄鋼	国内高炉メーカー向け工具の横展開により微増が見込まれるも、通期としては横ばいを予測		
非鉄金属・金属製品	当社主力製品のひとつである飲料缶の成形金型は微減見込み。家電向け非鉄金属加工用工具は微増を見込み、全体としては前期並みを予測		
生産・業務用機械	半導体製造装置向け部品や金属加工用装置向け金型、高圧関連工具が増加、また光学機器用金型は微増、全体では前期比増を予測		
電機・電子部品	磁石、電池向け金型は前期比微増だが、半導体素材の成形工具は前期並み。全体では前期比微増を予測		
金型・工具向け素材	超硬素材はアジアの半導体向け、および次世代自動車向け工具素材の拡販を進め前期比増を見込む		

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元方針

連結配当性向を50%を目処に適切な利益配分を実施



*1: 15/1に1→100の株式分割を実施。遡及値。

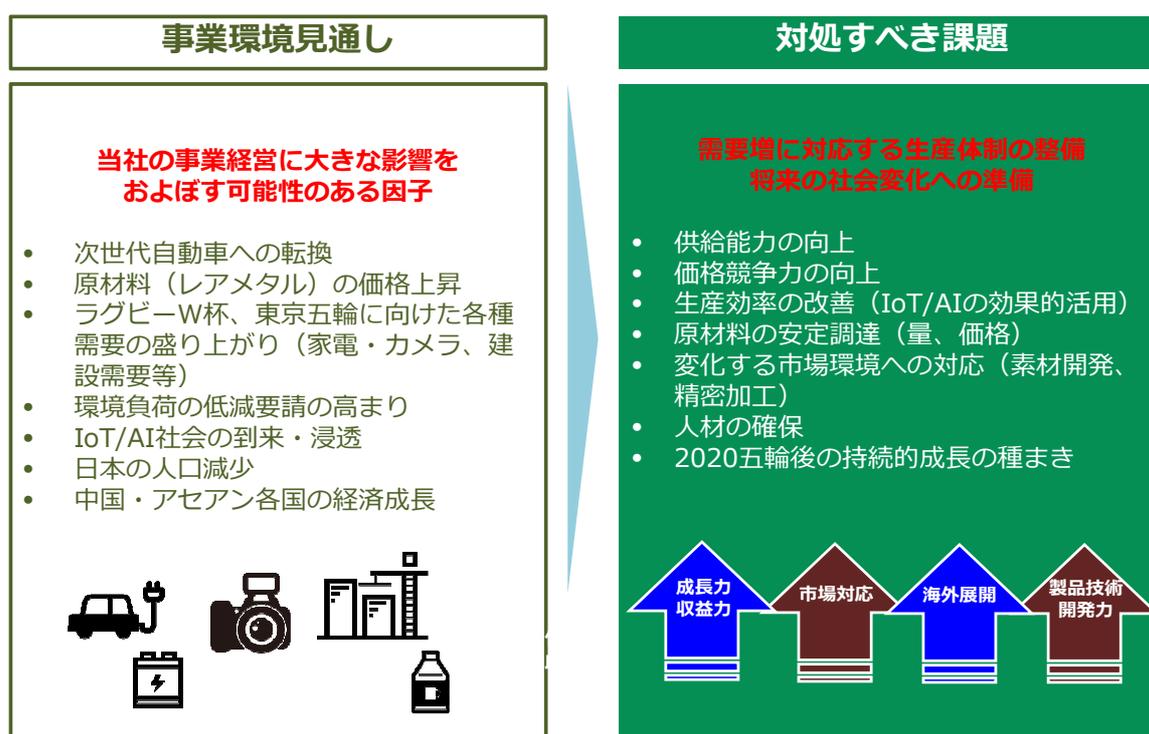
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

	page
I : 会社概要	2
II : 当社の特長	6
III : 2018年3月期 業績概要	14
IV : 2019年3月期 業績見通し	22
V : 成長戦略（中期経営計画）	26
VI : 参考資料	35

成長戦略（中期経営計画）

－ 事業環境見通しと対処すべき課題 －

持続的な成長に向けた、当社を取り巻く事業環境見通しと対処すべき課題



～基本コンセプト～

受注増への対応と、将来の社会変化への準備

1 成長力・収益力の強化

顧客要望に応える為、供給能力の増強に取り組み売上増加を図る

- 人員の増強
- 冶金工場の拡充と生産設備の増設
- 工場・設備の集約
- 生産設備の自動化による生産性向上
- 改善活動、技術開発等による製造原価低減
- 不採算製品の見直し
- ITの活用による業務効率向上

2 顧客ニーズの変化への柔軟な対応

市場動向に即したソリューション提供による顧客の主要サプライヤーを目指す

- 自動車産業の転換に対応した組織的な情報収集（ワーキンググループ設置・運用等）
- 営業部門と生産部門の円滑な情報共有
- 効果的な設備投資
- 市場規模に応じた人員配置
- 開発センターを活用した積極的な試作品投入

3 海外展開の加速

海外子会社、輸出の両輪での売上拡大を目指す

- アジア地域における売上増加（高付加価値製品の拡販、非日系顧客の開拓）
- ローカル人材の早期戦力化・定着
- 海外子会社の経営管理の充実

4 新製品開発・新技術開発

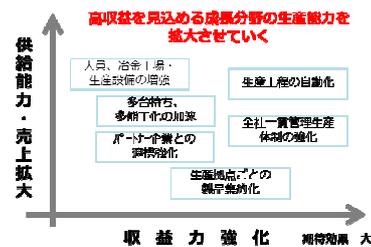
新製品・新技術の開発をスピードアップ

- 市場調査・分析から開発、製品化、生産移管まで一貫で進める体制構築
- 生産方式の革新を目指し、製造原価低減、設備ツール選定、加工方式、内製による設備開発の推進体制を整備

1 成長力・収益力の強化

- 生産特性を考慮した生産品種（製品）再構築
- IT化による各種情報の一元化
- 生産の自動化や省人化などの生産工程の効率化

【成長力・収益力強化のための施策と期待効果マップ】



《生産部門の取り組み》

生産効率10%以上の改善施策

▼主な施策 IT（情報技術）と生産体制構築による生産効率向上

	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3
IT関連	・ 工程管理システムによる生産日程の最適化	・ 生産情報の一元管理（図面・加工データ）	・ IoT技術の導入による生産計画の最適化
生産関連	・ 品種（製品）集約（生産効率化設計）	・ 設備群の最適配置・ライン化	・ 自動化、省人化ライン配置 ①：MCライン ②：放電加工ライン ③：（異工程連動）他

▼スケジュール



《三次元測定器自動化》（2017年導入）



作業時間
77%削減
※特定品種での効果

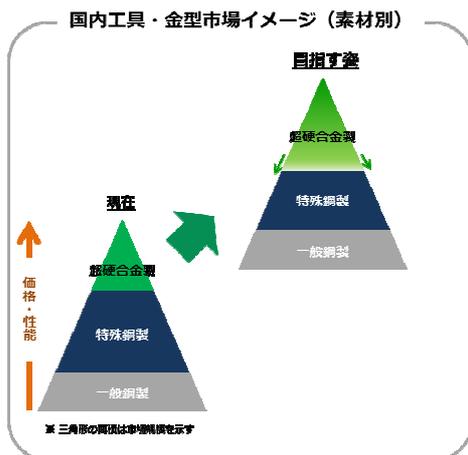
《加工設備の自動化》（2018年稼働予定）



既存重点市場の維持拡販をいしつつ、成長分野の主要サプライヤーを目指す

既存重点市場の維持拡販

- 半導体関連、缶器、ステアリング工具、レンズ金型などを重点市場と定め、既存顧客の深堀、同業への横展開を含め、維持拡販を図る
- 超硬合金の性能の高さ（硬度、製品寿命、変形しにくさ等）を改めて訴求し、従来特殊鋼が用いられていた工程で超硬合金製の工具・金型への転換を提案し、新規案件を開拓



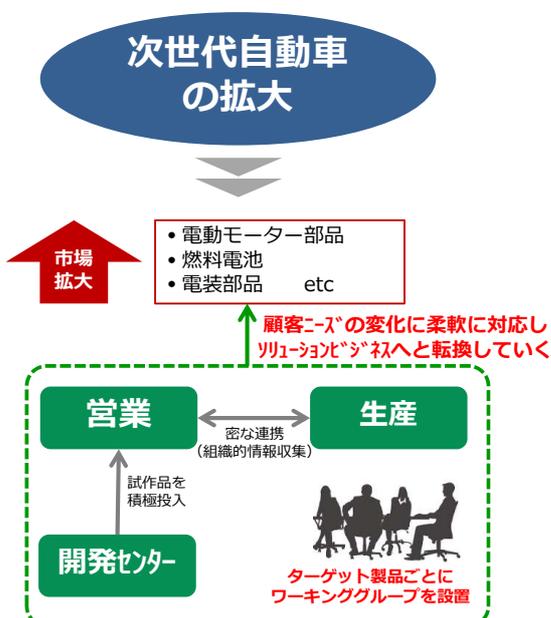
営業力の強化

- 営業部門の再編
 - 地域の市場規模に応じた人員配置
(名古屋営業所の移転拡充：2018年6月予定)
- ソリューション営業の強化
 - 顧客の新製品立上げ支援
(製品開発初期からの協業、積極的な試作品投入)
- 営業員の能力開発
 - 階層別教育の拡充（外部講習、e-ラーニング等）
 - アウトプットシステム導入による個の力量把握と向上支援
- IT活用による一層の業務効率改善
 - SFAやモバイルの高度利用による緊密なコミュニケーションと顧客/技術レジャの共有化の促進
 - 社内の各種文書のデジタル化推進

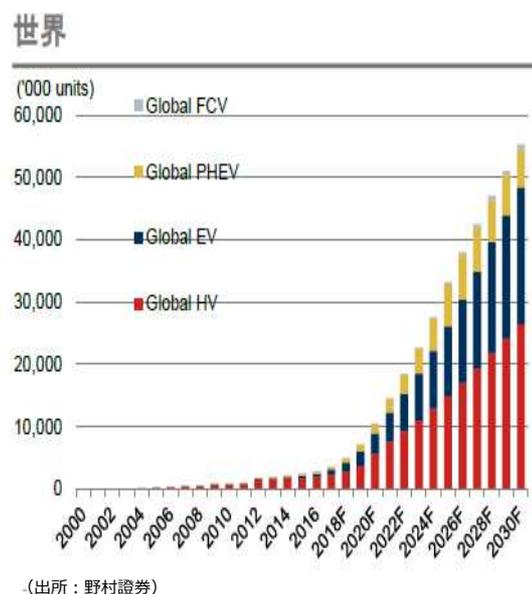
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

既存重点市場の維持拡販をいしつつ、成長分野の主要サプライヤーを目指す

自動車産業の変化が成長機会



次世代パワートレインの販売台数（予想）

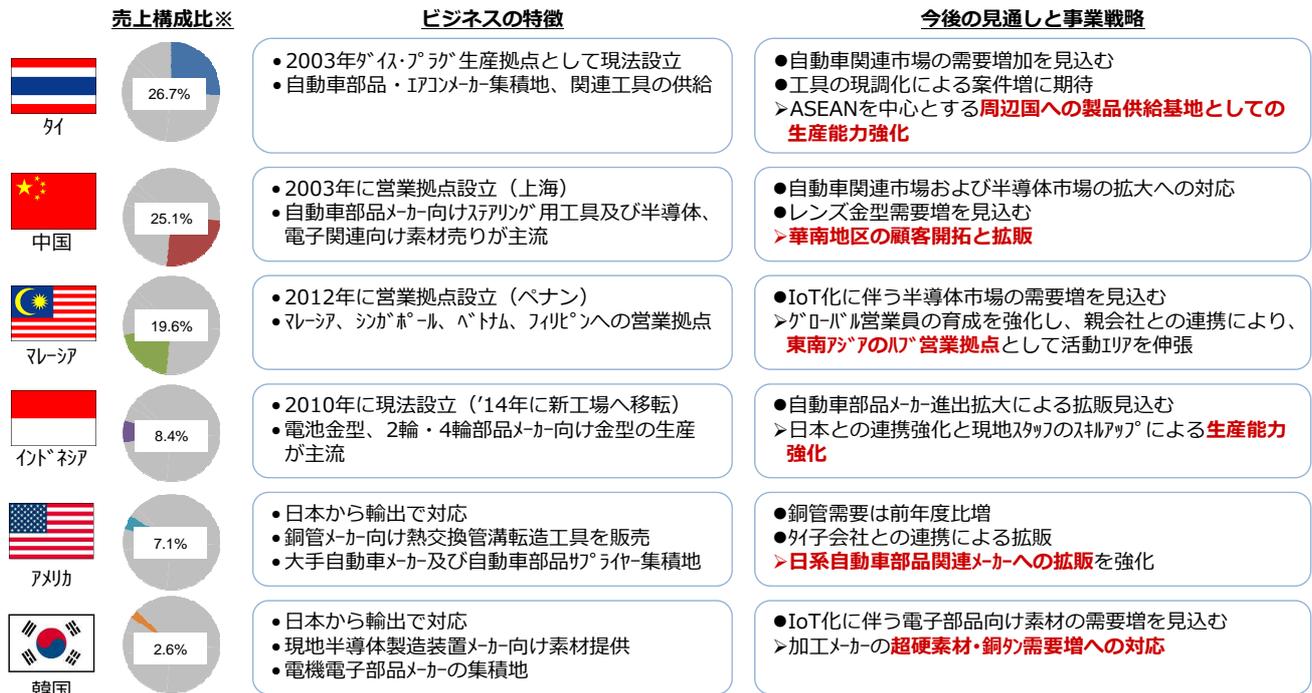


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

海外子会社、輸出の両輪での売上拡大を目指す

【重点施策】

- 販売力の強化（0-加開拓）、生産力の強化（品質/コスト/納期）
- 異型製品/特定製品生産の早期確立
- 技術/技能の蓄積、伝承

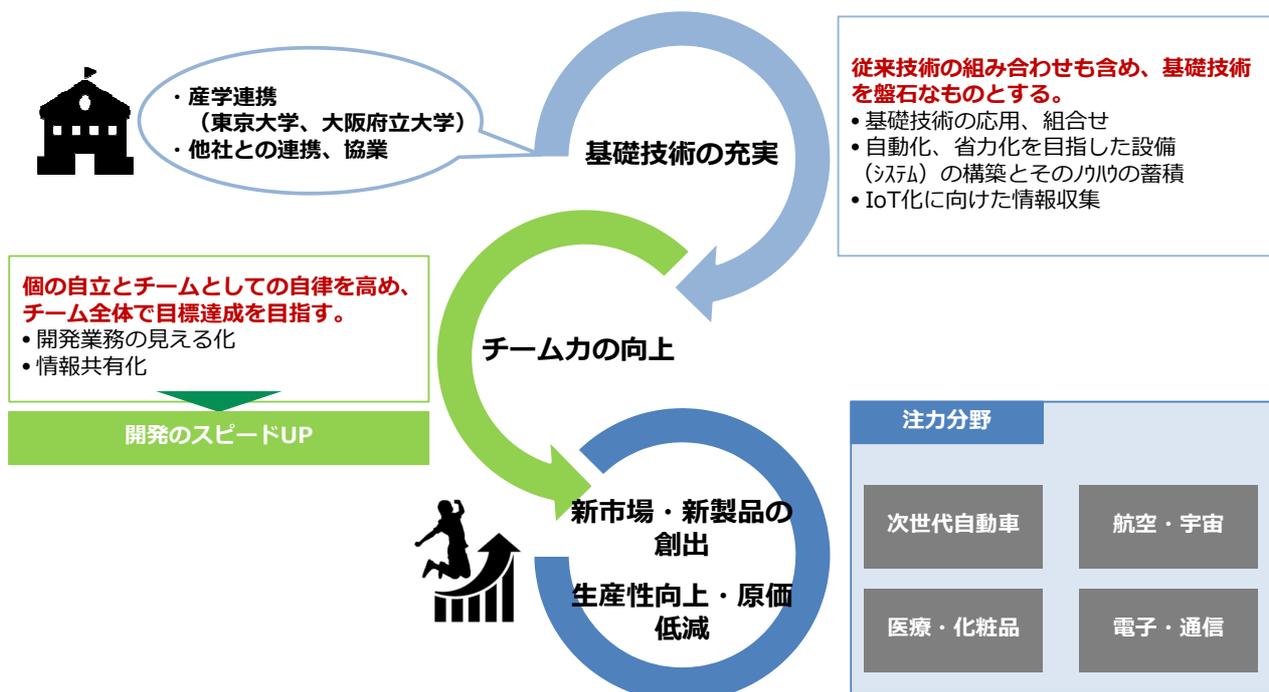


※売上構成比は、日本以外の売上高に占める上位6カ国の構成比（日本からの輸出+現地法人分、2017年度）

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

4 新製品開発・新技術開発

新製品・新技術の開発をスピードアップ



Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

新製品・新技術の開発をスピードアップ

分野	概要	素材	優位性	進捗状況	販売時期(予定)		
					2018年	2019年	2020年
次世代自動車	①モーター用抜き金型	①超硬合金	①材料技術	①サブ®出荷	→		
	②車載電池用金型	②超硬合金	②加工技術	②販売中	→		
	③過給器用機械部品	③複合材料	③材料技術	③サブ®出荷	●→		
航空・宇宙	①航空機エンジンタービン加工向け工具	①セラミックス	①特許取得	①販売中 (量産体制構築)	→		
	②燃料ポンプ用摺動材	②複合材料	②材料技術	②性能評価中	→		
医療・化粧品	①分析マイクロチップ用金型(μ-流路)	①超硬合金	①加工技術	①サブ®出荷	→		
	②ドラッグデリバリーシステム用金型	②複合材料	②加工技術	②性能評価中	→		
環境・エネルギー	①半導体向け高熱伝導用素材	①複合材料	①特許取得	①サブ®出荷	→		
	②高圧合成法を用いた触媒	②新物質	②特許取得	②サブ®準備中	●→		
その他	①赤外線レンズ用金型	①複合材料	①特許取得	①性能評価中	→		
	②高圧発生装置用素材	②超硬合金	②特許取得	②販売中	→		

page

I : 会社概要 2

II : 当社の特長 6

III : 2018年3月期 業績概要 14

IV : 2019年3月期 業績見通し 22

V : 成長戦略 (中期経営計画) 26

VI : 参考資料 35

企業理念

- 事業を通じて広く社会に貢献し、幸せな人を育てる
- 人間尊重、人間中心の経営

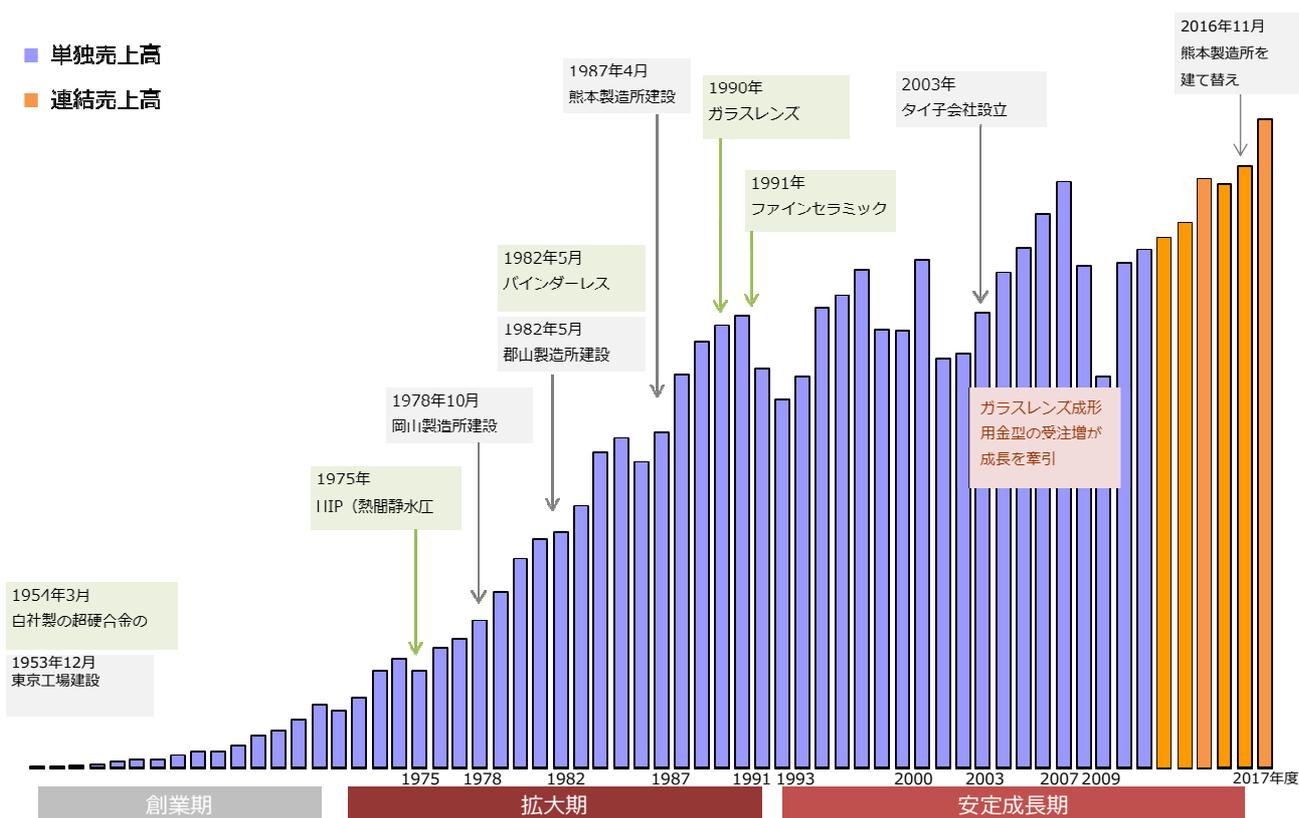
基本的な考え方（大切にしている価値観）

- 報恩感謝
- 和
- 創造と革新
- 誠実
- 質実剛健

長期ビジョン

- 世界のものづくり界のリーディングカンパニー
- 品性ある企業グループ並びに企業人

主な沿革



(注) 2012年度以降は連結

耐摩耗工具とは？（ダイスとプラグ）

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

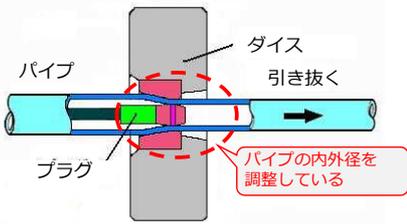
代表的な耐摩耗工具 ダイス・プラグ



ダイス
線材、棒、パイプ等の外径を決める工具

プラグ
パイプの内径を決める工具

【ダイス・プラグの使用例】



パイプ
ダイス
引き抜く
プラグ
パイプの内外径を調整している

ダイス・プラグは多くの製品の製造に用いられる

大型
油井管（石油、天然ガス掘削プラント用配管）
産業機械用リニア半導体製造装置用部品

丸型
異型

注射針
金、白金電気接点（電子部品、点火プラグ）

小型

当社は単純形状から複雑形状、超小型から大型まで対応可能な技術力・設備を有しており国内トップシェアを誇る

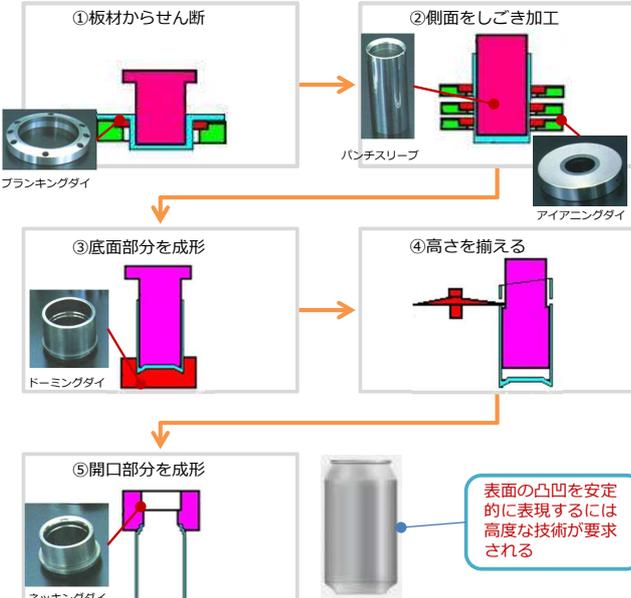
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

耐摩耗工具とは？

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

飲料缶の製造工程（軽量化・薄肉化・小型化に貢献）

自動車部品の製造に多く用いられる



① 板材からせん断
ブランキングダイ

② 側面をしごき加工
パンチスリーブ
ファイニングダイ

③ 底面部分を成形
ドローイングダイ

④ 高さを揃える

⑤ 開口部分を成形
ネックングダイ

表面の凸凹を安定的に表現するには高度な技術が要求される



**エンジン
トランスミッション**

- 板金用金型
- 抜き・絞り金型
- 圧粉成形金型
- アルミ casting 金型
- 冷間鍛造金型

ステアリング

- 冷間鍛造金型
- 板金用金型

**シートベルト
保安部品**

- 冷間鍛造金型
- 板金用金型
- 圧粉成形金型

**サスペンション
マフラー**

- ダイス、プラグ
- スピニング成形工具
- 曲げ金型

ラジエーター

- 押出ダイス
- 転造工具

**クリーンエネルギー
システム**

- 抜き・絞り金型
- 圧粉成形用金型
- カッター刃

タイヤ・ホイール

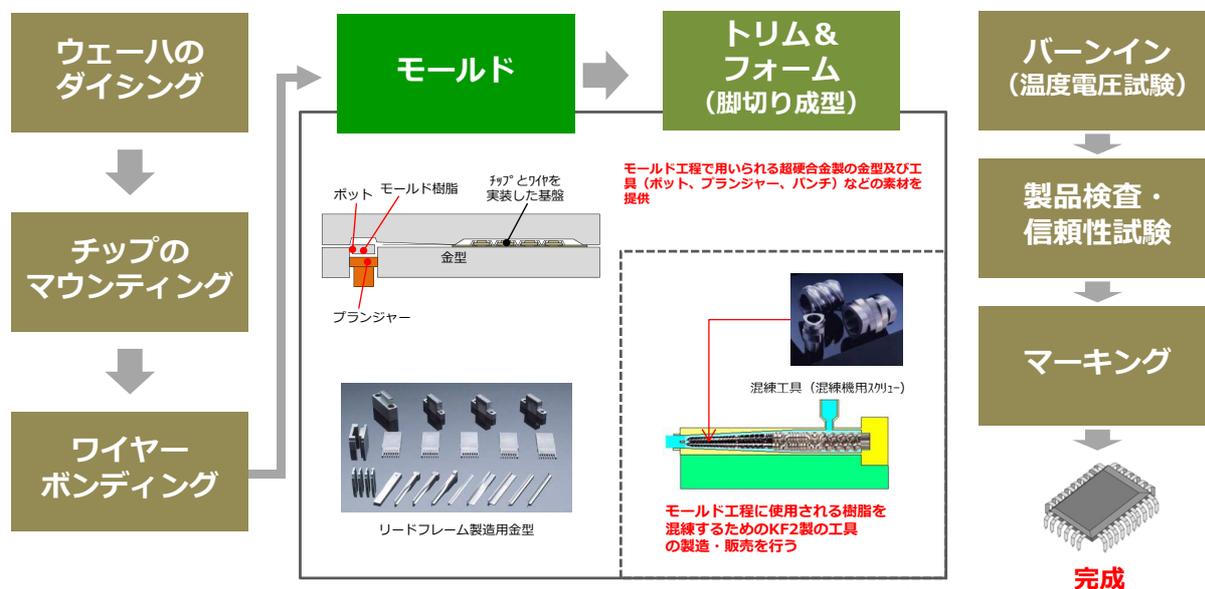
- フォーミングロール
- パーリングパンチ
- 引抜きダイス
- カッター刃

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

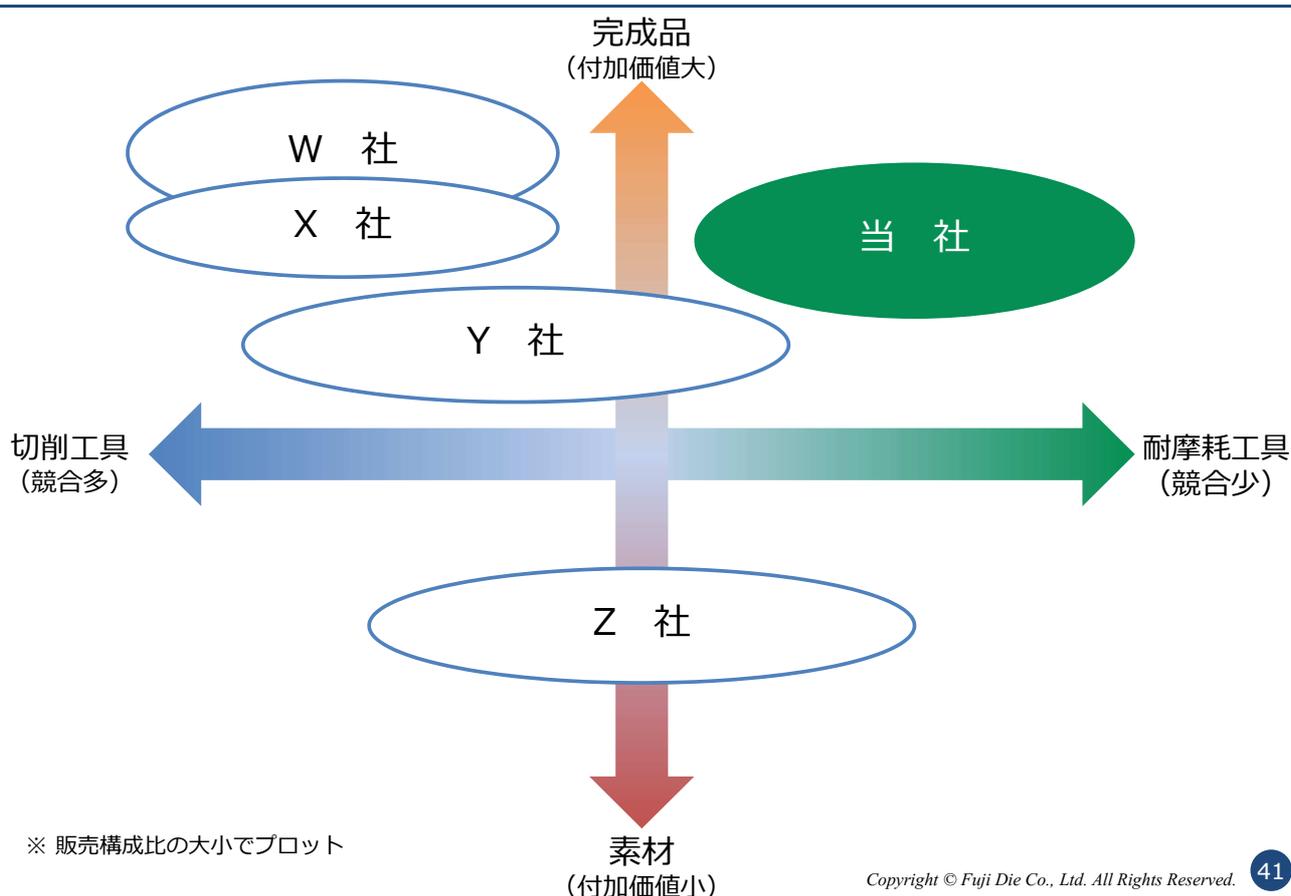
- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノ作りのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

半導体の製造工程にも用いられる

【後工程】

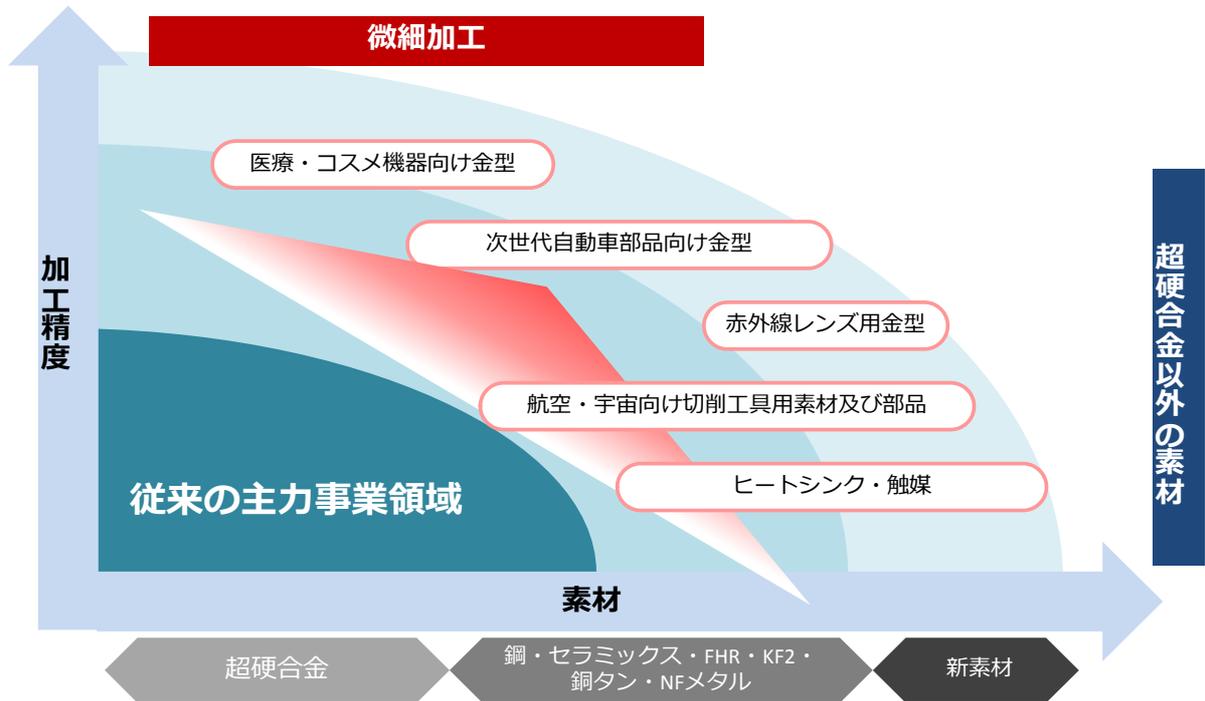


工具業界 ポジショニングマップ（上場企業）



※ 販売構成比の大小でプロット

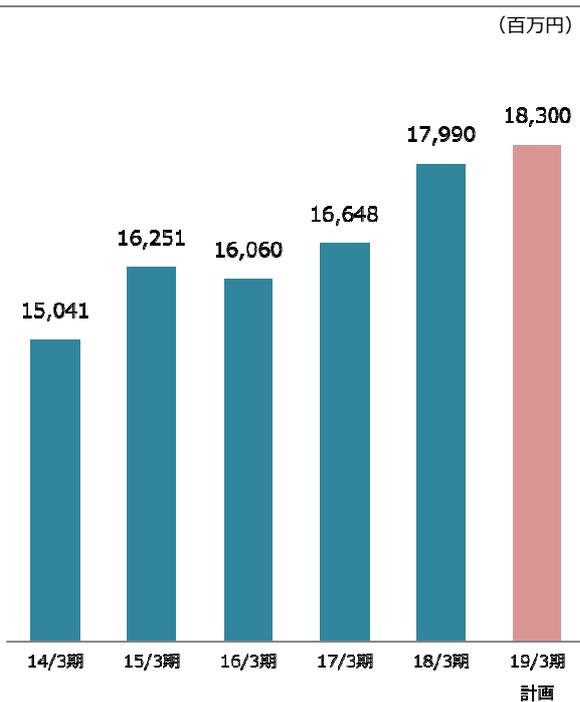
- 粉末冶金技術を駆使した**新材料**の研究開発を強化し、**耐摩耗工具以外**へ進出
- **超精密加工技術**を用いて研究開発を進展させ、**新しい産業分野**を開拓



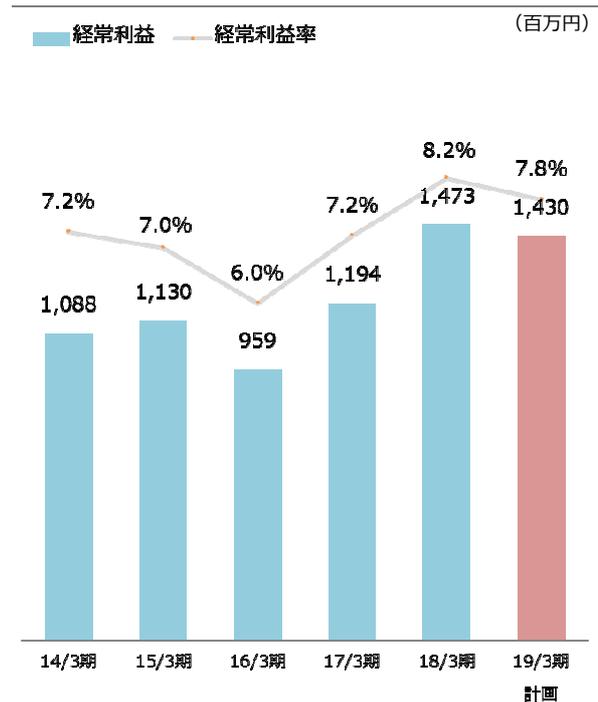
Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移 1/3

売上高

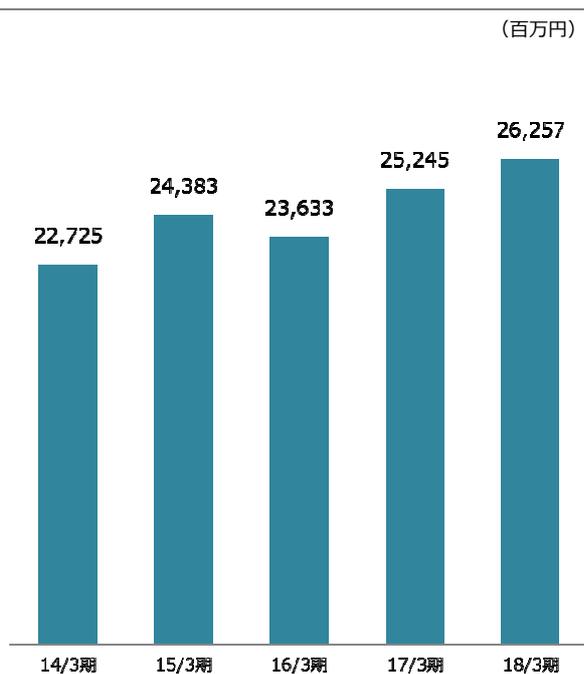


経常利益

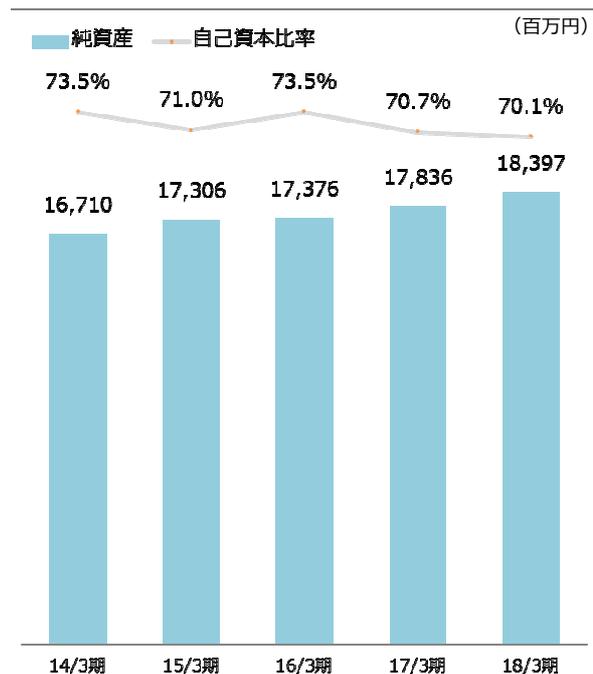


Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

総資産

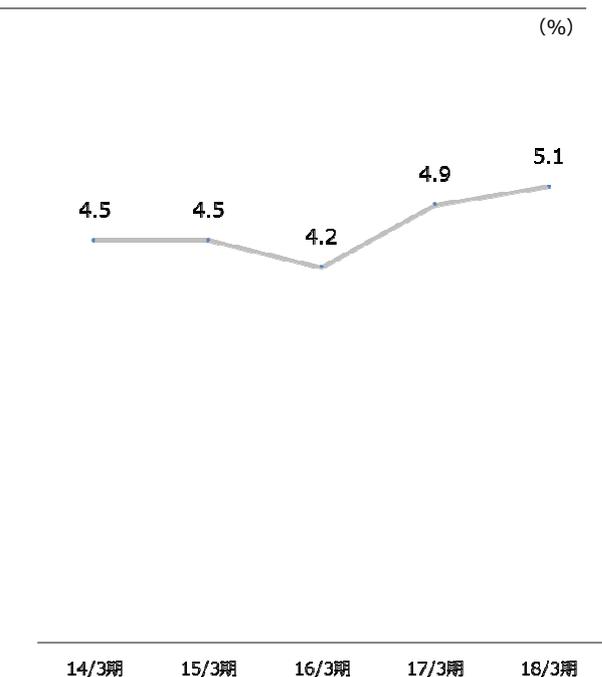


純資産



業績の推移 3/3

ROE





Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、当資料には見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記載されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性(市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等)が含まれております。今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

Copyright © Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.